



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日
上場取引所 東

上場会社名 nms ホールディングス株式会社
コード番号 2162 URL <https://www.n-ms.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 文明
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 コーポレート本部長 (氏名) 河野 寿子
四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

TEL 03-5333-1711

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	57,311	25.3	513	—	1,156	—	656	—
2022年3月期第3四半期	45,741	14.6	△628	—	△343	—	△744	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 699百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 △547百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	42.26	—
2022年3月期第3四半期	△44.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	42,336	3,315	7.8
2022年3月期	34,842	2,693	7.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,305百万円 2022年3月期 2,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2023年2月13日）公表いたしました「2023年3月期配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	24.8	1,200	—	1,100	795.2	300	—	19.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	21,611,000株	2022年3月期	21,611,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	6,067,959株	2022年3月期	6,067,959株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	15,543,041株	2022年3月期3Q	16,602,658株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、各国・地域における新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）との共存に向けた各種政策の効果もあり、経済活動は正常化に向けた動きがみられたものの、ウクライナ情勢の長期化や中国における感染症再拡大による景気への影響、また、インフレリスクに対応した欧米諸国での政策金利の引き上げやこれに伴う急激な為替変動など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

わが国経済においても、感染症拡大防止策やワクチン接種の進展を背景に行動制限が徐々に緩和されたこともあり、緩やかに景気持ち直しの動きが見られたものの、原材料・エネルギー価格の高騰や急激な円安等による経済活動への影響や物価上昇等、景気後退局面への転換懸念により先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは、事業基盤の強化を図るべく、グループ全体で合理化、効率化を徹底的に進め、事業効率のよい体制への転換や抜本的コスト構造改革を行ってまいりました。加えて、製造請負事業の強化や新市場への参入、海外製造拠点における生産性改善など、各事業とも売上確保および収益性への取り組みを着実に進めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は57,311百万円（前年同期比25.3%増）となり、営業利益は513百万円（前年同期は628百万円の損失）となりました。また、営業外収益において海外子会社へのグループ内貸付金に対する評価替えおよび海外子会社間の取引等による為替差益922百万円の発生があり、その結果、経常利益は1,156百万円（前年同期は343百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は656百万円（前年同期は744百万円の損失）となり、前年同期に対し大幅な業績改善となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① HS事業（ヒューマンソリューション事業）

国内事業については、感染症拡大や半導体関連等の部品不足によるお客様の稼働影響等が残りましたが、既存取引における原価率の改善や適正販管費の管理強化等、基盤強化策の実行を進め収益性改善に努めました。海外事業においても、中国ロックダウン等感染症関連の影響はありましたが、新規顧客の獲得や既存取引のシェア拡大による在籍人数増加に加え、ベトナムでの請負・受託の利益率改善の効果もあり、前年同期に対し増収増益となり、全体として業績が改善傾向となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、17,305百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益は、709百万円（前年同期比100.9%増）となりました。

② EMS事業（エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業）

EMS事業は、中国・ASEAN・北米において生産活動を展開しており、戦略投資の実行期にあります。第3四半期連結累計期間においては、感染症再拡大に伴う各国政府方針によるロックダウン影響や部品不足等によるお客様の生産計画変更等の影響があったものの需要は堅調に推移し、中国における新規受注の立ち上げやベトナムにおける量産開始等、事業規模拡大により増収となりました。利益面では、生産性改善やコスト構造見直しの成果もあり前年同期に対し利益改善となりましたが、北米EMS事業における顧客の減産影響や部材価格高騰による製造コストの増加があり、セグメント損失を計上しました。しかしながら、北米EMS事業は当社グループの市場領域拡大を担う重点施策であり、お客様からの引き合いも順調に増えており、業績改善に向け引き続き基盤強化策の実行を進めてまいります。

この結果、当セグメントの売上高は、27,618百万円（前年同期比36.0%増）、セグメント損失は、15百万円（前年同期は495百万円の損失）となりました。

③ PS事業（パワーサプライ事業）

PS事業は、第2四半期連結累計期間まで、中国ロックダウンによる稼働影響やサプライチェーンの混乱、部品不足や部材価格および物流コストの上昇など、感染症拡大による影響を受けたものの、第3四半期連結会計期間に入り、部品不足が緩和傾向となりお客様が挽回生産に転じたことや為替による影響もあり、増収となりました。利益面では、売上の増加に加え、部材価格高騰に伴う売価の是正や部材調達ソースの拡大等、安定した生産活動および収益確保に向けた施策を着実に実行しました。

この結果、当セグメントの売上高は、12,387百万円（前年同期比37.2%増）、セグメント利益は、185百万円（前年同期は137百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、32,639百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,290百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金及び契約資産が1,993百万円、原材料及び貯蔵品が4,922百万円増加したことによるものです。

固定資産合計は、9,667百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,213百万円増加いたしました。これは無形固定資産が20百万円減少したものの、有形固定資産が1,107百万円、投資その他の資産が126百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、42,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,494百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、33,175百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,841百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が3,618百万円、短期借入金が2,318百万円増加したことによるものです。

固定負債合計は、5,845百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が284百万円減少したものの、退職給付に係る負債が36百万円、その他固定負債が273百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、39,021百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,872百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,315百万円となり、前連結会計年度末に比べ621百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が579百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は7.8%（前連結会計年度末は7.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期結業績予想につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおり、売上高、営業利益とも前回予想を大幅に上回る見込みです。経常利益につきましても、足もとでは円高傾向となっているものの、想定を超える円安基調が継続したことに加え、営業利益の増加もあり、前回予想を上回る見込みであり、当期純利益についても、営業利益、経常利益の増加により、前回発表予想を上回る見込みです。詳細は、2023年1月30日公表の「営業外収益（為替差益）および特別損失の計上、2023年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、2023年3月期期末配当につきましても、業績が堅調に推移していることから、2022年5月13日公表の配当予想を修正し、1株当たり5円から1円増配し、1株当たり6円とすることといたしました。詳細は、本日公表の「2023年3月期配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

※当該業績予想は現時点での情報をもとにしており、今後、業績動向の変化を与える事象が生じた場合等には上記予想を変更する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,131,886	3,622,911
受取手形、売掛金及び契約資産	11,735,694	13,729,243
製品	1,287,937	1,797,604
仕掛品	699,212	798,884
原材料及び貯蔵品	6,132,170	11,054,771
その他	1,373,328	1,650,204
貸倒引当金	△11,081	△13,894
流動資産合計	26,349,148	32,639,726
固定資産		
有形固定資産		
土地	953,021	953,021
その他(純額)	5,744,321	6,852,180
有形固定資産合計	6,697,342	7,805,201
無形固定資産		
その他	722,073	701,183
無形固定資産合計	722,073	701,183
投資その他の資産		
その他	1,033,877	1,160,868
投資その他の資産合計	1,033,877	1,160,868
固定資産合計	8,453,293	9,667,253
繰延資産		
社債発行費	39,663	29,747
繰延資産合計	39,663	29,747
資産合計	34,842,105	42,336,727
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,230,005	8,848,220
短期借入金	16,324,883	18,643,624
未払金	2,239,346	2,262,651
未払法人税等	185,357	313,365
未払消費税等	371,190	463,278
賞与引当金	455,422	625,669
その他	1,527,630	2,019,001
流動負債合計	26,333,836	33,175,811
固定負債		
社債	2,000,000	2,000,000
長期借入金	2,853,065	2,568,181
繰延税金負債	66,339	72,544
退職給付に係る負債	317,143	353,149
その他	577,731	851,412
固定負債合計	5,814,278	5,845,288
負債合計	32,148,115	39,021,099

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,690	500,690
資本剰余金	554,842	554,842
利益剰余金	3,439,757	4,018,832
自己株式	△1,310,407	△1,310,407
株主資本合計	3,184,883	3,763,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,851	△8,719
為替換算調整勘定	△491,954	△449,563
その他の包括利益累計額合計	△499,805	△458,283
非支配株主持分	8,912	9,953
純資産合計	2,693,990	3,315,627
負債純資産合計	34,842,105	42,336,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	45,741,133	57,311,765
売上原価	41,040,495	51,405,483
売上総利益	4,700,637	5,906,281
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	2,149,424	1,994,717
賞与引当金繰入額	163,803	165,984
その他	3,016,002	3,232,249
販売費及び一般管理費合計	5,329,231	5,392,950
営業利益又は営業損失(△)	△628,593	513,331
営業外収益		
受取利息	11,426	11,220
為替差益	450,699	922,811
その他	62,950	83,075
営業外収益合計	525,076	1,017,107
営業外費用		
支払利息	155,100	238,141
社債発行費償却	9,915	9,915
外国源泉税	3,632	4,835
その他	71,489	120,640
営業外費用合計	240,138	373,532
経常利益又は経常損失(△)	△343,656	1,156,905
特別利益		
固定資産売却益	58,769	1,395
特別利益合計	58,769	1,395
特別損失		
固定資産除却損	5,249	1,882
事業構造改革費用	163,036	—
新型コロナウイルス感染症関連損失	148,686	32,497
特別損失合計	316,972	34,380
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△601,858	1,123,921
法人税等	143,340	466,894
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△745,198	657,026
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△584	236
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△744,613	656,789

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△745,198	657,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,333	△868
為替換算調整勘定	199,076	43,529
その他の包括利益合計	197,743	42,661
四半期包括利益	△547,455	699,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△547,212	698,312
非支配株主に係る四半期包括利益	△242	1,375

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	HS事業	EMS事業	PS事業	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
日本	13,417,226	6,015,943	1,165,755	20,598,925	—	20,598,925
中国	1,134,911	3,376,199	7,863,332	12,374,443	—	12,374,443
マレーシア	—	8,397,060	—	8,397,060	—	8,397,060
その他	1,852,291	2,518,413	—	4,370,704	—	4,370,704
顧客との契約から生じる収益	16,404,428	20,307,616	9,029,088	45,741,133	—	45,741,133
(1)外部顧客への売上高	16,404,428	20,307,616	9,029,088	45,741,133	—	45,741,133
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	60,244	1,498,265	243,607	1,802,118	△1,802,118	—
計	16,464,673	21,805,881	9,272,696	47,543,251	△1,802,118	45,741,133
セグメント利益又は損失(△)	353,312	△495,438	△137,666	△279,792	△348,801	△628,593

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△348,801千円には、セグメント間取引消去11,529千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△360,331千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行なっております。
3. その他の区分に属する国の内訳は、タイ、米国、ベトナム、ラオス、インドネシアであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	HS事業	EMS事業	PS事業	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
日本	13,406,516	6,208,265	1,451,121	21,065,903	—	21,065,903
中国	1,457,987	6,458,416	10,936,233	18,852,638	—	18,852,638
マレーシア	—	10,429,108	—	10,429,108	—	10,429,108
その他	2,441,365	4,522,748	—	6,964,114	—	6,964,114
顧客との契約から生じる収益	17,305,870	27,618,540	12,387,355	57,311,765	—	57,311,765
(1)外部顧客への売上高	17,305,870	27,618,540	12,387,355	57,311,765	—	57,311,765
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	164,786	2,216,805	21,517	2,403,109	△2,403,109	—
計	17,470,656	29,835,346	12,408,872	59,714,875	△2,403,109	57,311,765
セグメント利益又は損失(△)	709,635	△15,808	185,774	879,601	△366,270	513,331

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△366,270千円には、セグメント間取引消去9,987千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△376,257千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。
3. その他の区分に属する国の内訳は、ベトナム、タイ、米国、ラオス、インドネシアであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。